

上高地「山に祈る」祈念塔墓参

—— 槍・穂高連峰で遭難死した山仲間を偲んで ——

山に祈る

流転の世界

必滅の人生

成敗はともあれ

悔いることなき純粋な

愛と意欲の美しさ

尾崎喜八

河童橋から5分。現在のバスターミナル駐車場脇。敷地 79.3 m²、正面 4.12m、奥行き 3.3m、高さ 3m。クマ笹を刈り玉石を敷き、コンクリート、テラゾー、鉄平石作りの立派な「山に祈る」祈念塔が建立されている。

建設経緯は別紙の通り。

60年の歳月は、関係者の死亡、高齢化等によって、訪ねる人も少なくなっているようだが、風雪に耐え、穂高連峰を背景にして建立時同様、威厳を維持している。

8月3日4日と、私も5年振りに墓参。花、お酒、ビール缶、タバコ、ローソク、線香、風雨に汚れた御供物を処分、墓を清めた。

翌日、残した掃除のため祈念塔へ。

山伏姿で尺八を奏でる先客。聴けば75歳まで山に登ったが、この数年遭難碑等で尺八吹いて、鎮魂の旅。本職は寺の住職とか。残余の掃除を共に。

旧盆、その他の後事を。一般財団法人 自然公園財団 上高地支部 副所長 若林浩之氏へ、金一封を添えて、帰京。

都立一商山岳部の先輩、同期、後輩等の冬山雪崩遭難死の追悼。

上高地入りして3日目、やっと晴れ穂高の稜線の全容を見せてくれた。

以上